【様式第1号】

一般会計等 貸借対照表

（令和05年3月31日現在）

（単位：円）

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	97,550,003,638	固定負債	16,765,597,027
有形固定資産	94,290,464,420	地方債	16,524,784,027
事業用資産	57,577,969,278	長期未払金	－
土地	27,678,432,149	退職手当引当金	240,813,000
立木竹	－	損失補償等引当金	－
建物	50,063,513,897	その他	－
建物減価償却累計額	△ 22,701,000,781	流動負債	2,350,607,779
工作物	4,155,414,196	1年内償還予定地方債	1,782,642,222
工作物減価償却累計額	△ 2,203,706,383	未払金	－
船舶	7,820,796	未払費用	－
船舶減価償却累計額	△ 7,465,034	前受金	－
浮標等	－	前受収益	－
浮標等減価償却累計額	－	賞与等引当金	263,256,479
航空機	－	預り金	304,709,078
航空機減価償却累計額	－	その他	－
その他	－	負債合計	19,116,204,806
その他減価償却累計額	－	【純資産の部】	
建設仮勘定	584,960,438	固定資産等形成分	100,362,135,395
インフラ資産	35,562,060,515	余剰分（不足分）	△ 17,905,015,760
土地	9,222,817,854		
建物	580,025,232		
建物減価償却累計額	△ 295,794,790		
工作物	69,051,657,259		
工作物減価償却累計額	△ 43,314,562,104		
その他	－		
その他減価償却累計額	－		
建設仮勘定	317,917,064		
物品	6,745,445,816		
物品減価償却累計額	△ 5,595,011,189		
無形固定資産	63,980,955		
ソフトウェア	32,530,374		
その他	31,450,581		
投資その他の資産	3,195,558,263		
投資及び出資金	229,150,173		
有価証券	74,017,702		
出資金	155,132,471		
その他	－		
投資損失引当金	－		
長期延滞債権	217,436,702		
長期貸付金	17,533,600		
基金	2,741,076,607		
減債基金	－		
その他	2,741,076,607		
その他	－		
徴収不能引当金	△ 9,638,819		
流動資産	4,023,320,803		
現金預金	962,146,821		
未収金	254,206,875		
短期貸付金	6,660,000		
基金	2,805,471,757		
財政調整基金	2,299,592,223		
減債基金	505,879,534		
棚卸資産	－		
その他	－		
徴収不能引当金	△ 5,164,650	純資産合計	82,457,119,635
資産合計	101,573,324,441	負債及び純資産合計	101,573,324,441

【様式第2号】

一般会計等　行政コスト計算書

自　令和04年4月1日
至　令和05年3月31日

（単位：円）

科目	金額
経常費用	29,644,914,885
業務費用	11,835,024,090
人件費	4,287,559,964
職員給与費	3,295,337,813
賞与等引当金繰入額	263,256,479
退職手当引当金繰入額	-
その他	728,965,672
物件費等	7,091,760,155
物件費	3,729,663,929
維持補修費	129,414,048
減価償却費	3,232,682,178
その他	-
その他の業務費用	455,703,971
支払利息	103,343,666
徴収不能引当金繰入額	15,744,333
その他	336,615,972
移転費用	17,809,890,795
補助金等	8,158,717,095
社会保障給付	7,370,156,081
他会計への繰出金	2,278,700,442
その他	2,317,177
経常収益	529,496,505
使用料及び手数料	220,100,994
その他	309,395,511
純経常行政コスト	29,115,418,380
臨時損失	121,687,986
災害復旧事業費	-
資産除売却損	34,627,499
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	87,060,487
臨時利益	160,403,334
資産売却益	63,478,334
その他	96,925,000
純行政コスト	29,076,703,032

【様式第3号】

一般会計等　純資産変動計算書

自　令和04年4月1日

至　令和05年3月31日

（単位：円）

科目	合計	固定資産等形成分	余剰分（不足分）
前年度末純資産残高	82,949,394,920	101,420,407,329	△ 18,471,012,409
純行政コスト（△）	△ 29,076,703,032		△ 29,076,703,032
財源	28,529,894,540		28,529,894,540
税収等	14,687,202,070		14,687,202,070
国県等補助金	13,842,692,470		13,842,692,470
本年度差額	△ 546,808,492		△ 546,808,492
固定資産等の変動（内部変動）		△ 1,112,325,187	1,112,325,187
有形固定資産等の増加		2,313,116,387	△ 2,313,116,387
有形固定資産等の減少		△ 3,603,826,247	3,603,826,247
貸付金・基金等の増加		1,674,656,123	△ 1,674,656,123
貸付金・基金等の減少		△ 1,496,271,450	1,496,271,450
資産評価差額	8,273,317	8,273,317	
無償所管換等	45,439,941	45,439,941	
その他	819,949	339,995	479,954
本年度純資産変動額	△ 492,275,285	△ 1,058,271,934	565,996,649
本年度末純資産残高	82,457,119,635	100,362,135,395	△ 17,905,015,760

【様式第４号】

一般会計等　資金収支計算書

自　令和04年4月1日

至　令和05年3月31日

（単位：円）

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	26,359,079,565
業務費用支出	8,549,188,770
人件費支出	4,234,816,564
物件費等支出	3,876,765,568
支払利息支出	103,343,666
その他の支出	334,262,972
移転費用支出	17,809,890,795
補助金等支出	8,158,717,095
社会保障給付支出	7,370,156,081
他会計への繰出支出	2,278,700,442
その他の支出	2,317,177
業務収入	27,286,581,167
税収等収入	14,253,939,453
国県等補助金収入	12,614,443,470
使用料及び手数料収入	218,698,454
その他の収入	199,499,790
臨時支出	－
災害復旧事業費支出	－
その他の支出	－
臨時収入	－
業務活動収支	927,501,602
【投資活動収支】	
投資活動支出	3,626,065,424
公共施設等整備費支出	2,178,043,707
基金積立金支出	1,437,327,717
投資及び出資金支出	－
貸付金支出	10,694,000
その他の支出	－
投資活動収入	3,191,418,624
国県等補助金収入	1,228,249,000
基金取崩収入	1,250,045,809
貸付金元金回収収入	5,460,000
資産売却収入	282,609,815
その他の収入	425,054,000
投資活動収支	△ 434,646,800
【財務活動収支】	
財務活動支出	1,816,535,790
地方債償還支出	1,816,535,790
その他の支出	－
財務活動収入	1,047,558,000
地方債発行収入	1,047,558,000
その他の収入	－
財務活動収支	△ 768,977,790
本年度資金収支額	△ 276,122,988
前年度末資金残高	933,560,731
本年度末資金残高	657,437,743

前年度末歳計外現金残高	311,090,853
本年度歳計外現金増減額	△ 6,381,775
本年度末歳計外現金残高	304,709,078
本年度末現金預金残高	962,146,821

【様式第1号】

全体貸借対照表

（令和05年3月31日現在）

（単位：円）

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	122,258,616,499	固定負債	34,751,184,958
有形固定資産	116,710,924,265	地方債等	16,600,210,464
事業用資産	57,735,183,126	長期未払金	437,330,000
土地	27,776,894,151	退職手当引当金	277,693,218
立木竹	－	損失補償等引当金	－
建物	50,099,029,727	その他	17,435,951,276
建物減価償却累計額	△ 22,712,284,832	流動負債	3,087,767,869
工作物	4,198,741,274	1年内償還予定地方債等	1,816,294,576
工作物減価償却累計額	△ 2,213,453,894	未払金	204,508,520
船舶	7,820,796	未払費用	－
船舶減価償却累計額	△ 7,465,034	前受金	－
浮標等	990,000	前受収益	－
浮標等減価償却累計額	△ 49,500	賞与等引当金	290,613,696
航空機	－	預り金	344,524,301
航空機減価償却累計額	－	その他	431,826,776
その他	－	負債合計	37,838,952,827
その他減価償却累計額	－	【純資産の部】	
建設仮勘定	584,960,438	固定資産等形成分	125,070,748,256
インフラ資産	55,986,663,782	余剰分（不足分）	△ 33,930,125,190
土地	10,699,635,183	他団体出資等分	－
建物	1,664,700,341		
建物減価償却累計額	△ 593,649,735		
工作物	94,374,720,326		
工作物減価償却累計額	△ 50,860,686,293		
その他	－		
その他減価償却累計額	－		
建設仮勘定	701,943,960		
物品	10,554,233,892		
物品減価償却累計額	△ 7,565,156,535		
無形固定資産	68,236,011		
ソフトウェア	36,516,730		
その他	31,719,281		
投資その他の資産	5,479,456,223		
投資及び出資金	229,381,173		
有価証券	74,017,702		
出資金	155,363,471		
その他	－		
投資損失引当金	－		
長期延滞債権	421,716,254		
長期貸付金	1,317,655,600		
基金	3,536,170,134		
減債基金	－		
その他	3,536,170,134		
その他	－		
徴収不能引当金	△ 25,466,938		
流動資産	6,720,959,394		
現金預金	3,319,396,389		
未収金	570,452,071		
短期貸付金	6,660,000		
基金	2,805,471,757		
財政調整基金	2,299,592,223		
減債基金	505,879,534		
棚卸資産	8,978,209		
その他	23,513,226		
徴収不能引当金	△ 13,512,258		
繰延資産	－	純資産合計	91,140,623,066
資産合計	128,979,575,893	負債及び純資産合計	128,979,575,893

【様式第2号】

全体行政コスト計算書

自　令和04年4月1日
至　令和05年3月31日

（単位：円）

科目	金額
経常費用	42,810,573,500
業務費用	14,910,654,662
人件費	4,748,856,772
職員給与費	3,581,869,561
賞与等引当金繰入額	290,622,696
退職手当引当金繰入額	-
その他	876,364,515
物件費等	9,461,814,303
物件費	5,055,893,628
維持補修費	160,146,523
減価償却費	4,171,936,429
その他	73,837,723
その他の業務費用	699,983,587
支払利息	171,497,857
徴収不能引当金繰入額	60,129,982
その他	468,355,748
移転費用	27,899,918,838
補助金等	20,524,785,192
社会保障給付	7,372,300,498
その他	2,833,148
経常収益	2,300,074,463
使用料及び手数料	1,856,454,392
その他	443,620,071
純経常行政コスト	40,510,499,037
臨時損失	134,536,130
災害復旧事業費	-
資産除売却損	38,567,383
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	95,968,747
臨時利益	242,851,071
資産売却益	63,478,334
その他	179,372,737
純行政コスト	40,402,184,096

【様式第3号】

全体純資産変動計算書

自　令和04年4月1日
至　令和05年3月31日

（単位：円）

科目	合計	固定資産等形成分	余剰分（不足分）	他団体出資等分
前年度末純資産残高	91,407,301,777	126,687,089,549	△ 35,279,787,772	－
純行政コスト（△）	△ 40,402,184,096		△ 40,402,184,096	
財源	40,073,455,139		40,073,455,139	－
税収等	18,401,178,524		18,401,178,524	
国県等補助金	21,672,276,615		21,672,276,615	
本年度差額	△ 328,728,957		△ 328,728,957	－
固定資産等の変動（内部変動）		△ 1,670,394,546	1,670,394,546	
有形固定資産等の増加		2,818,891,326	△ 2,818,891,326	
有形固定資産等の減少		△ 4,547,020,382	4,547,020,382	
貸付金・基金等の増加		1,843,376,168	△ 1,843,376,168	
貸付金・基金等の減少		△ 1,785,641,658	1,785,641,658	
資産評価差額	15,790,356	15,790,356		
無償所管換等	45,439,941	45,439,941		
他団体出資等分の増加	－			－
他団体出資等分の減少	－			－
その他	819,949	△ 7,177,044	7,996,993	
本年度純資産変動額	△ 266,678,711	△ 1,616,341,293	1,349,662,582	－
本年度末純資産残高	91,140,623,066	125,070,748,256	△ 33,930,125,190	－

【様式第４号】

全体資金収支計算書

自　令和04年4月1日

至　令和05年3月31日

（単位:円）

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	38,543,325,332
業務費用支出	10,643,406,494
人件費支出	4,706,976,643
物件費等支出	5,298,604,708
支払利息支出	171,497,857
その他の支出	466,327,286
移転費用支出	27,899,918,838
補助金等支出	20,524,785,192
社会保障給付支出	7,372,300,498
その他の支出	2,833,148
業務収入	39,938,572,175
税収等収入	17,431,118,374
国県等補助金収入	20,442,944,306
使用料及び手数料収入	1,740,756,032
その他の収入	323,753,463
臨時支出	8,908,260
災害復旧事業費支出	−
その他の支出	8,908,260
臨時収入	76,617,338
業務活動収支	1,462,955,921
【投資活動収支】	
投資活動支出	4,517,422,513
公共施設等整備費支出	2,973,603,407
基金積立金支出	1,532,875,106
投資及び出資金支出	−
貸付金支出	10,944,000
その他の支出	−
投資活動収入	3,810,786,735
国県等補助金収入	1,403,276,873
基金取崩収入	1,336,453,809
貸付金元金回収収入	5,601,300
資産売却収入	282,609,815
その他の収入	782,844,938
投資活動収支	△ 706,635,778
【財務活動収支】	
財務活動支出	2,284,908,101
地方債等償還支出	1,852,825,959
その他の支出	432,082,142
財務活動収入	1,300,958,000
地方債等発行収入	1,300,958,000
その他の収入	−
財務活動収支	△ 983,950,101
本年度資金収支額	△ 227,629,958
前年度末資金残高	3,242,317,269
本年度末資金残高	3,014,687,311

前年度末歳計外現金残高	311,090,853
本年度歳計外現金増減額	△ 6,381,775
本年度末歳計外現金残高	304,709,078
本年度末現金預金残高	3,319,396,389

【様式第1号】

連結貸借対照表

（令和05年3月31日現在）

（単位：円）

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	129,933,694,386	固定負債	37,595,072,580
有形固定資産	119,594,682,391	地方債等	17,115,431,847
事業用資産	60,609,710,617	長期未払金	441,753,104
土地	28,239,500,606	退職手当引当金	2,601,899,232
立木竹	－	損失補償等引当金	－
建物	60,786,183,298	その他	17,435,988,397
建物減価償却累計額	△ 31,379,750,972	流動負債	3,296,734,272
工作物	4,640,772,350	1年内償還予定地方債等	1,962,995,391
工作物減価償却累計額	△ 2,300,739,999	未払金	244,368,408
船舶	7,820,796	未払費用	9,396,708
船舶減価償却累計額	△ 7,465,034	前受金	－
浮標等	990,000	前受収益	－
浮標等減価償却累計額	△ 49,500	賞与等引当金	298,760,170
航空機	－	預り金	347,074,159
航空機減価償却累計額	－	その他	434,139,436
その他	44,735,840	負債合計	40,891,806,852
その他減価償却累計額	△ 7,247,206	【純資産の部】	
建設仮勘定	584,960,438	固定資産等形成分	132,796,941,237
インフラ資産	55,986,663,782	余剰分（不足分）	△ 35,402,659,100
土地	10,699,635,183	他団体出資等分	1,000,000
建物	1,664,700,341		
建物減価償却累計額	△ 593,649,735		
工作物	94,374,720,326		
工作物減価償却累計額	△ 50,860,686,293		
その他	－		
その他減価償却累計額	－		
建設仮勘定	701,943,960		
物品	10,620,554,890		
物品減価償却累計額	△ 7,622,246,898		
無形固定資産	212,925,849		
ソフトウェア	39,225,104		
その他	173,700,745		
投資その他の資産	10,126,086,146		
投資及び出資金	219,395,773		
有価証券	74,032,302		
出資金	145,363,471		
その他	－		
投資損失引当金	－		
長期延滞債権	424,509,350		
長期貸付金	1,318,081,984		
基金	6,178,536,037		
減債基金	－		
その他	6,178,536,037		
その他	2,011,042,509		
徴収不能引当金	△ 25,479,507		
流動資産	8,353,394,603		
現金預金	3,849,571,061		
未収金	573,949,353		
短期貸付金	6,660,000		
基金	2,856,586,851		
財政調整基金	2,350,707,317		
減債基金	505,879,534		
棚卸資産	1,056,231,421		
その他	23,914,472		
徴収不能引当金	△ 13,518,555		
繰延資産	－	純資産合計	97,395,282,137
資産合計	138,287,088,989	負債及び純資産合計	138,287,088,989

【様式第2号】

連結行政コスト計算書

自　令和04年4月1日
至　令和05年3月31日

（単位：円）

科目	金額
経常費用	47,938,588,682
業務費用	16,516,530,191
人件費	5,383,127,203
職員給与費	4,071,791,176
賞与等引当金繰入額	295,502,286
退職手当引当金繰入額	105,785,293
その他	910,048,448
物件費等	10,274,862,153
物件費	5,560,555,082
維持補修費	264,231,315
減価償却費	4,376,228,561
その他	73,847,195
その他の業務費用	858,540,835
支払利息	174,650,750
徴収不能引当金繰入額	60,148,848
その他	623,741,237
移転費用	31,422,058,491
補助金等	24,043,951,359
社会保障給付	7,372,344,329
その他	5,762,803
経常収益	2,529,689,129
使用料及び手数料	1,993,999,439
その他	535,689,690
純経常行政コスト	45,408,899,553
臨時損失	134,536,131
災害復旧事業費	−
資産除売却損	38,567,384
投資損失引当金繰入額	−
損失補償等引当金繰入額	−
その他	95,968,747
臨時利益	242,857,866
資産売却益	63,485,129
その他	179,372,737
純行政コスト	45,300,577,818

【様式第3号】

連結純資産変動計算書

自　令和04年4月1日

至　令和05年3月31日

（単位：円）

科目	合計	固定資産等形成分	余剰分（不足分）	他団体出資等分
前年度末純資産残高	97,961,861,174	135,403,195,013	△ 37,442,333,839	1,000,000
純行政コスト（△）	△ 45,300,577,818		△ 45,300,577,818	
財源	44,743,443,904		44,743,443,904	－
税収等	20,828,243,903		20,828,243,903	
国県等補助金	23,915,200,001		23,915,200,001	
本年度差額	△ 557,133,914		△ 557,133,914	－
固定資産等の変動（内部変動）		△ 1,566,251,931	1,566,251,931	
有形固定資産等の増加		3,034,141,346	△ 3,034,141,346	
有形固定資産等の減少		△ 4,736,447,149	4,736,447,149	
貸付金・基金等の増加		2,012,139,222	△ 2,012,139,222	
貸付金・基金等の減少		△ 1,876,085,350	1,876,085,350	
資産評価差額	15,790,356	15,790,356		
無償所管換等	45,657,039	45,657,039		
他団体出資等分の増加	－			－
他団体出資等分の減少	－			－
比例連結割合変更に伴う差額	△ 68,334,574	△ 65,555,630	△ 2,778,944	－
その他	△ 2,557,944	△ 1,035,893,610	1,033,335,666	
本年度純資産変動額	△ 566,579,037	△ 2,606,253,776	2,039,674,739	－
本年度末純資産残高	97,395,282,137	132,796,941,237	△ 35,402,659,100	1,000,000

【様式第4号】

連結資金収支計算書

自　令和04年4月1日

至　令和05年3月31日

（単位：円）

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	44,032,144,781
業務費用支出	12,610,086,290
人件費支出	5,232,972,231
物件費等支出	6,562,816,174
支払利息支出	174,629,546
その他の支出	639,668,339
移転費用支出	31,422,058,491
補助金等支出	24,044,897,911
社会保障給付支出	7,372,344,329
その他の支出	4,816,251
業務収入	44,736,436,299
税収等収入	19,824,616,142
国県等補助金収入	22,550,377,416
使用料及び手数料収入	1,878,301,079
その他の収入	483,141,662
臨時支出	8,908,260
災害復旧事業費支出	－
その他の支出	8,908,260
臨時収入	76,617,338
業務活動収支	772,000,596
【投資活動収支】	
投資活動支出	6,898,674,414
公共施設等整備費支出	3,188,826,957
基金積立金支出	1,698,903,457
投資及び出資金支出	－
貸付金支出	10,944,000
その他の支出	2,000,000,000
投資活動収入	6,993,419,340
国県等補助金収入	1,480,488,893
基金取崩収入	1,441,867,599
貸付金元金回収収入	5,601,300
資産売却収入	282,616,610
その他の収入	3,782,844,938
投資活動収支	94,744,926
【財務活動収支】	
財務活動支出	2,431,097,897
地方債等償還支出	1,995,950,478
その他の支出	435,147,419
財務活動収入	1,364,087,069
地方債等発行収入	1,330,518,788
その他の収入	33,568,281
財務活動収支	△ 1,067,010,828
本年度資金収支額	△ 200,265,306
前年度末資金残高	3,743,338,668
比例連結割合変更に伴う差額	923,244
本年度末資金残高	3,543,996,606

前年度末歳計外現金残高	311,930,909
本年度歳計外現金増減額	△ 6,356,454
本年度末歳計外現金残高	305,574,455
本年度末現金預金残高	3,849,571,061

一般会計等財務書類　注記

1．重要な会計方針

（1）有形固定資産等の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア　昭和59年度以前に取得したもの・・・・・・・・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額１円としています。

イ　昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・・・・・・・・再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額１円としています。

② 無形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの ・・・・・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの ・・・・・・・・・・・・・・・・再調達原価

（2）有価証券等の評価基準及び評価方法

① 有価証券

ア　市場価格のあるもの・・・・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ　市場価格のないもの・・・・・・・・・・・取得原価

② 出資金

ア　市場価格のあるもの・・・・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ　市場価格のないもの・・・・・・・・・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が30％以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

（3）棚卸資産の評価基準及び評価方法

なし

（4）有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物　　14年 ～ 50年

工作物 10年 ～ 80年

物品　　2年 ～ 15年

② 無形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・定額法

（ソフトウェアについては、見込利用期間（５年）に基づく定額法によっています。）

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が 1 年以内のリース取引及びリース契約 1 件あたりのリース料総額が 300 万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

（5）引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

なし

② 徴収不能引当金

未収金ならびに徴収不能引当金については、過去 5 年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。

③退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した額を控除した額を計上しています。

④損失補償等引当金

なし

⑤賞与等引当金

翌年度の 6 月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

（6）リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、１件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

（7）資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（糸満市資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。）

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

（8）その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 出納整理期間

当会計年度に係る出納整理期間（令和5年4月1日～5月31日）の現金出納に関する取引を当会計年度の取引に含めています。

② 消費税及び地方消費税の会計処理

税込方式によっています。

③ 物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が50万円（美術品は300万円）以上の場合に資産として計上しています。ソフトウェアについても、原則として物品の取扱いに準じています。

④ 資本的支出と修繕費の区分基準

資本的支出と修繕費の区分基準については、原則として金額が60万円未満であるときに、修繕費として処理しています。ただし、実施した工事の性質により、原状回復と判断された工事については金額によらず修繕費として処理しています。

2．重要な会計方針の変更等

（1）会計方針の変更

なし

（2）表示方法の変更

なし

（3）資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

3．重要な後発事象

（1）主要な業務の改廃

なし

（2）組織・機構の大幅な変更

なし

（3）地方財政制度の大幅な改正

なし

（4）重大な災害等の発生

なし

4．偶発債務

（1）保証債務及び損失補償債務負担の状況

なし

（2）係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

（3）その他主要な偶発債務

なし

一般会計等財務書類　注記

5．追加情報

（1）財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

①一般会計等財務書類の対象範囲は次の通りです。

一般会計

人材育成事業特別会計

②地方自治法第235条の５に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

③表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。

④地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の状況

実質赤字比率・・・・・・・・・・・・・	-
連結実質赤字比率・・・・・・・・・・・	-
実質公債費比率・・・・・・・・・・・・	9.5 ％
将来負担比率・・・・・・・・・・・・・	24.4 ％

⑤利子補給等に係る債務負担行為の翌年度以降の支出予定額

なし

⑥過年度修正等に関する事項

なし

（2）貸借対照表に係る事項

①売却可能資産の範囲及び内訳

ア　範囲

個別の固定資産について、売却可能性を検討した上で決定しています。

イ　内訳

事業用資産	0千円（　0千円）
インフラ資産	0千円（　0千円）
物品	0千円（　0千円）

令和5年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

また、括弧内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。

②地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく将来負担比率の算定要素

標準財政規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13,306,775 千円

元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額・・・ 1,197,943 千円

将来負担額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22,147,879 千円

充当可能基金額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5,546,547 千円

特定財源見込額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 651,057 千円

地方債現在高等に係る基準財政需要額算入額・・・・・・・・ 12,995,433 千円

（３）行政コスト計算書に係る事項

なし

（４）純資産変動計算書に係る事項

①固定資産形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

②余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

（５）資金収支計算書に係る事項

①基礎的財政収支

783,480 千円

②既存の決算情報との関連性

	収入（歳入）	支出（歳出）
歳入歳出決算書	31,983,247千円	31,332,276千円
財務書類の対象となる会計の範囲に伴う差額	25,872千円	19,405千円
繰越金のうち前年度歳入歳出差引額に伴う差額	△933,561千円	0千円
繰越金のうち歳計剰余金処分による基金積立に伴う差額	450,000千円	450,000千円
翌年度繰上げ充用金に伴う差額	0千円	0千円
相殺消去に伴う差額	0千円	0千円
資金収支計算書	31,525,558千円	31,801,681千円

地方自治法第233条第1項に基づく歳入歳出決算書は「一般会計」を対象範囲としているのに対し、資金収支計算書は「一般会計等」を対象としているため、歳入歳出決算書と資金収支計算書は一部の特別会計の分だけ相違します。

歳入歳出決算書では繰越金を収入として計上しますが、公会計では計上しないため、その分だけ相違します。

③資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳

資金収支計算書

業務活動収支	927,502千円
投資活動収入の国県等補助金収入	1,228,249千円
未収債権、未払債務等の増加（減少）	780,272千円
減価償却費	△3,232,682千円
賞与等引当金繰入額	△263,256千円
退職手当引当金繰入額	0千円
徴収不能引当金繰入額	△15,744千円
資産除売却益（損）	28,851千円
純資産変動計算書の本年度差額	△546,808千円

④重要な非資金取引

なし

全体財務書類　注記

1．重要な会計方針

（1）有形固定資産等の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア　昭和59年度以前に取得したもの・・・・・・・・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額１円としています。

イ　昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・・・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・・・・・・・・・再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額１円としています。

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

② 無形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの ・・・・・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの ・・・・・・・・・・・・・・・・再調達原価

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

（2）有価証券等の評価基準及び評価方法

① 有価証券

ア　市場価格のあるもの・・・・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ　市場価格のないもの・・・・・・・・・・・取得原価

② 出資金

ア　市場価格のあるもの・・・・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ　市場価格のないもの・・・・・・・・・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が30％以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

（3）棚卸資産の評価基準及び評価方法

①原材料、商品等・・公営企業会計・連結対象団体が採用する評価基準

②販売用土地・・・・地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行規則第4条第2項各号に掲げる方法

（４）有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物	14年 ～ 50年
工作物	10年 ～ 80年
物品	2年 ～ 15年

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

② 無形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・・定額法

（ソフトウェアについては、見込利用期間（５年）に基づく定額法によっています。）

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が１年以内のリース取引及びリース契約１件あたりのリース料総額が 300 万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

・・・・・・・・・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

（５）引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

なし

② 徴収不能引当金

未収金ならびに徴収不能引当金については、過去５年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。

③退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した額を控除した額を計上しています。

④損失補償等引当金

なし

⑤賞与等引当金

翌年度の６月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

（６）リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、１件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

（7）資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（糸満市資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。）

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

（8）消費税及び地方消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の会計については、税抜方式によっています。

2．重要な会計方針の変更等

（1）会計方針の変更

なし

（2）表示方法の変更

なし

（3）資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

3．重要な後発事象

（1）主要な業務の改廃

なし

（2）組織・機構の大幅な変更

なし

（3）地方財政制度の大幅な改正

なし

（4）重大な災害等の発生

なし

全体財務書類　注記

4．偶発債務

（1）保証債務及び損失補償債務負担の状況

なし

（2）係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

（3）その他主要な偶発債務

なし

全体財務書類　注記

5．追加情報

（1）全体財務書類の対象範囲

全体財務書類の対象範囲については、一般会計等財務書類の対象範囲に下記会計を含みます。

団体名	連結方法	比例連結割合
水道事業会計	全部連結	-
下水道事業会計	全部連結	-
糸満漁港ふれあい公園事業特別会計	全部連結	-
土地区画整理事業特別会計	全部連結	-
国民健康保険事業特別会計	全部連結	-
介護保険事業特別会計	全部連結	-
後期高齢者医療特別会計	全部連結	-

（2）出納整理期間

地方自治法第235条の５に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

（3）表示単位未満の取扱い

表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。

（4）売却可能資産の範囲及び内訳

ア　範囲

個別の固定資産について、売却可能性を検討した上で決定しています。

イ　内訳

事業用資産	0千円（	0千円）
インフラ資産	0千円（	0千円）
物品	0千円（	0千円）

令和5年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

また、括弧内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。

連結財務書類　注記

1．重要な会計方針

（1）有形固定資産等の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア　昭和59年度以前に取得したもの・・・・・・・・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額１円としています。

イ　昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・・・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・・・・・・・・・再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額１円としています。

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

② 無形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの ・・・・・・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの ・・・・・・・・・・・・・・・・再調達原価

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

（2）有価証券等の評価基準及び評価方法

① 有価証券

ア　市場価格のあるもの・・・・・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ　市場価格のないもの・・・・・・・・・・・・取得原価

② 出資金

ア　市場価格のあるもの・・・・・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ　市場価格のないもの・・・・・・・・・・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が30％以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

（3）棚卸資産の評価基準及び評価方法

①原材料、商品等・・公営企業会計・連結対象団体が採用する評価基準

②販売用土地・・・・地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行規則第4条第2項各号に掲げる方法

（４）有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物　　14年 ～ 50年

工作物　10年 ～ 80年

物品　　2年 ～ 15年

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

② 無形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・・定額法

（ソフトウェアについては、見込利用期間（５年）に基づく定額法によっています。）

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が１年以内のリース取引及びリース契約１件あたりのリース料総額が 300 万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

・・・・・・・・・・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

（５）引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

未収金ならびに徴収不能引当金については、過去５年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。

②退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した額を控除した額を計上しています。

③損失補償等引当金

なし

④賞与等引当金

翌年度の６月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

（６）リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、１件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

（7）資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（容易に換金可能であり、かつ、価値変動が僅少なもので、流動性の高い投資をいいます。ただし、一般会計等においては、糸満市資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。）

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

（8）消費税及び地方消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の会計については、税抜方式によっています。

2．重要な会計方針の変更等

（1）会計方針の変更

なし

（2）表示方法の変更

なし

（3）資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

3．重要な後発事象

（1）主要な業務の改廃

なし

（2）組織・機構の大幅な変更

なし

（3）地方財政制度の大幅な改正

なし

（4）重大な災害等の発生

なし

4．偶発債務

（1）保証債務及び損失補償債務負担の状況

なし

（2）係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

（3）その他主要な偶発債務

なし

連結財務書類　注記

5．追加情報

（1）連結財務書類の対象範囲

連結財務書類の対象範囲については、全体財務書類の対象範囲に下記の団体（会計）を含みます。

団体名	連結方法	比例連結割合
南部広域市町村圏事務組合（一般会計）	比例連結	7.83%
南部広域市町村圏事務組合（南斎場）	比例連結	30.50%
沖縄県後期高齢者医療広域連合	比例連結	0.04%
沖縄県市町村総合事務組合	比例連結	4.96%
沖縄県自治会館管理組合	比例連結	4.17%
南部広域行政組合	比例連結	16.42%
糸満市土地開発公社	全部連結	-
糸満市社会福祉協議会	全部連結	-

連結の方法は次のとおりです。

①一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結対象としています。

②地方独立行政法人は、全て全部連結の対象としています。

③地方三公社は、全て全部連結の対象としています

④第三セクター等は、出資割合が50％を超える団体（出資割合等が50％以下であっても業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体は含みます。）は、全部連結の対象としています。

（2）出納整理期間

地方自治法第235条の５に基づき出納整理期間が設けられている団体（会計）においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

（3）表示単位未満の取扱い

表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。

（4）売却可能資産の範囲及び内訳

ア　範囲

個別の固定資産について、売却可能性を検討した上で決定しています。

イ　内訳

事業用資産	0千円（	0千円）
インフラ資産	0千円（	0千円）
物品	0千円（	0千円）

令和5年３月31日時点における売却可能価額を記載しています。

また、括弧内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。